



平成19年3月期 中間決算説明会

平成18年11月6日

株式会社 ハイマックス

証券コード: 4299 東証2部

<http://www.himacs.jp/>

1. 中間決算概要
2. トピックス
3. 通期業績予想
4. 優先課題への取組み

1. 中間決算概要

中間決算損益計算書(連結)

1. 中間決算概要

(百万円)

	H18/3 中間期 (構成比率)		H19/3 中間期 (構成比率)		増減率	期初予想 (H18.5.12発表) (達成率)	
売上高	4,273	100.0%	4,214	100.0%	△ 1.4%	4,300	△2.0%
売上総利益	801	18.8%	949	22.5%	+18.4%	—	—
販管費	537	12.6%	654	15.5%	+21.8%	—	—
営業利益	264	6.2%	295	7.0%	+11.6%	—	—
経常利益	265	6.2%	301	7.2%	+13.7%	270	+11.9%
中間純利益	147	3.5%	160	3.8%	+ 8.9%	143	+12.5%

中間決算損益計算書(連結)

1. 中間決算概要

	(百万円)				
	H18/3 中間期 (構成比率)		H19/3 中間期 (構成比率)		増減額
売 上 高	4,273	100.0%	4,214	100.0%	△59
売上総利益	801	18.8%	949	22.5%	+147
販 管 費	537	12.6%	654	15.5%	+117
営 業 利 益	264	6.2%	295	7.0%	+30
経 常 利 益	265	6.2%	301	7.2%	+36
中間純利益	147	3.5%	160	3.8%	+13

【利益増加要因】

- ✓プロジェクト管理向上による原価低減
- ✓開発管理体制強化及び販売力向上の為人件費が販管費にシフト

【費用増加要因】

- ✓会計制度変更
- ✓開発センター等部署新設及び強化
- ✓販売力向上の為人員増

2. トピックス

事業分野別売上高(連結)

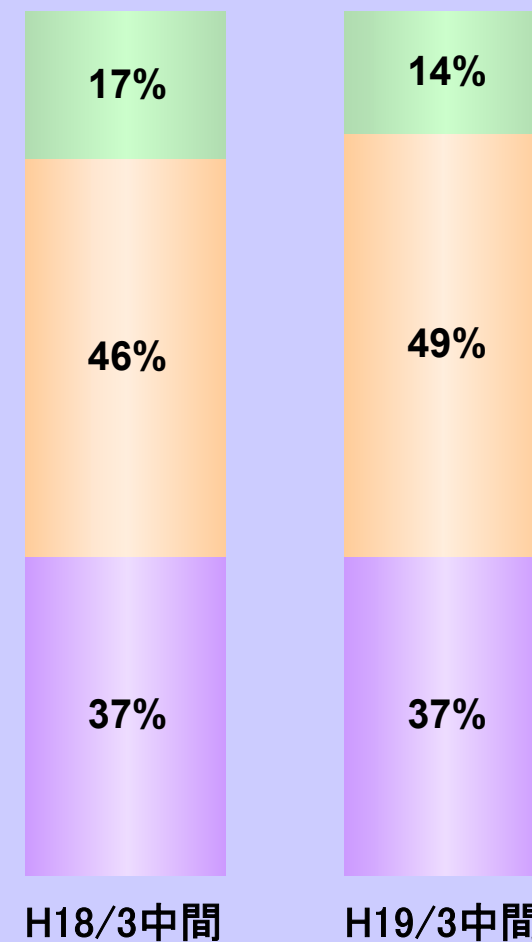
2. トピックス

継続した
メンテナンスサービスを獲得

(百万円)

事業分野	H18/3 中間期	H19/3 中間期	増減率
システム インテグレーション	713	573	△19.6%
システム メンテナンス	1,980	2,088	+5.5%
プロフェッショナル	1,579	1,552	△1.7%
合 計	4,273	4,214	△1.4%

構成比の比較



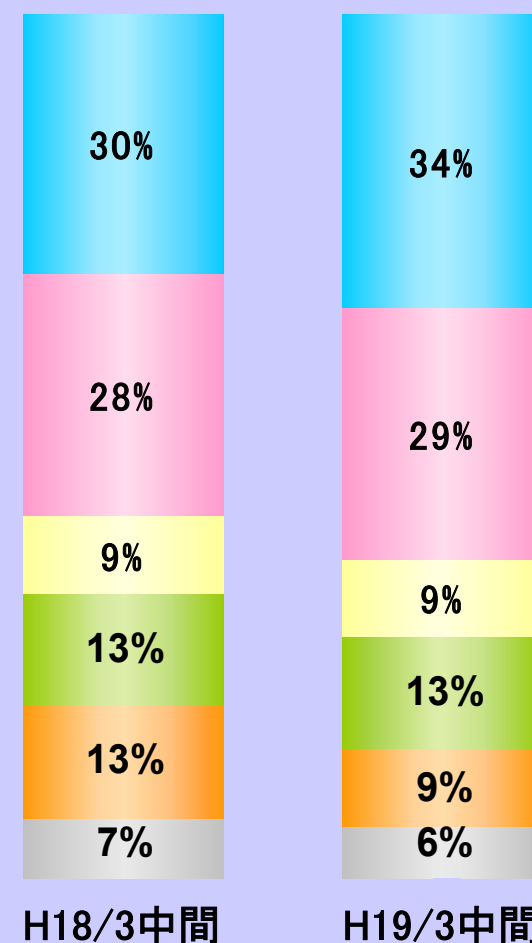
業種別売上高(連結)

2. トピックス

金融業界向け案件に注力

業種	(百万円)		
	H18/3 中間期	H19/3 中間期	増減率
銀行・証券	1,278	1,436	+12.4%
保険	1,205	1,207	+0.2%
公共	387	389	+0.4%
流通	568	534	△5.9%
クレジット	530	398	△24.8%
その他	303	247	△18.3%
合 計	4,273	4,214	△1.4%

構成比の比較



業種別トピックス

2. トピックス

銀行・証券
(前中間期比 +12.4%)

Sier経由の都銀向け案件に対し、
組織を整備し対応

業務知識を活かし、新規の大手証券案件を
中心に拡大

保険
(前中間期比 +0.2%)

継続した大型案件を計画通り受注

公共
(前中間期比 +0.4%)

Sier経由の鉄道及び電力向けの案件に参入

流通
(前中間期比 △5.9%)

採算性及び今後の案件拡大見込みを吟味し
受注

クレジット
(前中間期比 △24.8%)

Sier経由の大型案件がピークアウト
既存エンド・ユーザー案件の獲得に注力

顧客別売上高(連結)

2. トピックス

【Sier: 前中間期比△6.1%、構成比率70%】

- 主力の金融業界向けのでは、10.8%増
 - ・都銀向け案件の拡大
 - ・新規の大手証券向けへ領域を拡大
- クレジット向けの大型案件がピークアウト
- 鉄道及び電力向け案件に参入

【エンド・ユーザー: 前中間期比+11.6%、構成比率30%】

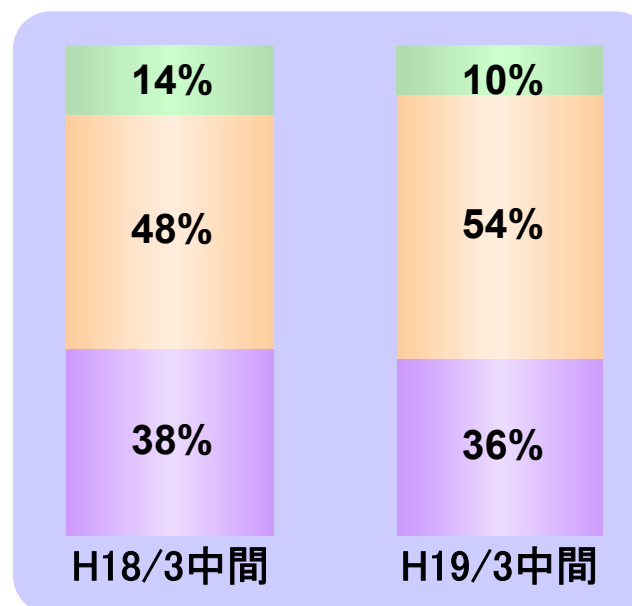
- 保険向けの案件の計画的拡大
- 証券情報配信企業の新規開発案件への参入
- クレジット向け案件の不正利用防止システム関連の拡大
- 流通向けの長期大型案件が拡大

受注の状況

2. トピックス

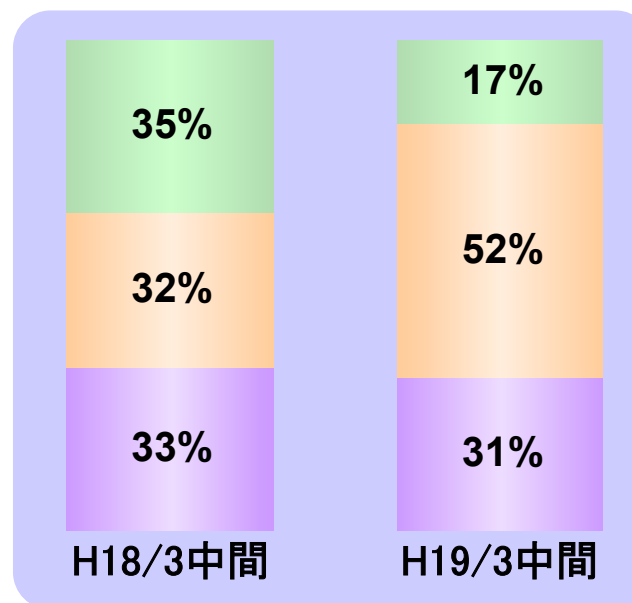
(百万円)

受注高	H18/3 中間期	H19/3 中間期	増減率
システム インテグレーション	569	416	△26.8%
システム メンテナンス	1,989	2,277	+14.5%
プロフェッショナル	1,607	1,547	△3.8%
合 計	4,165	4,241	+1.8%



(百万円)

受注残高	H18/3 中間期	H19/3 中間期	増減率
システム インテグレーション	461	267	△42.1%
システム メンテナンス	413	813	+96.9%
プロフェッショナル	431	474	+10.0%
合 計	1,306	1,555	+19.1%



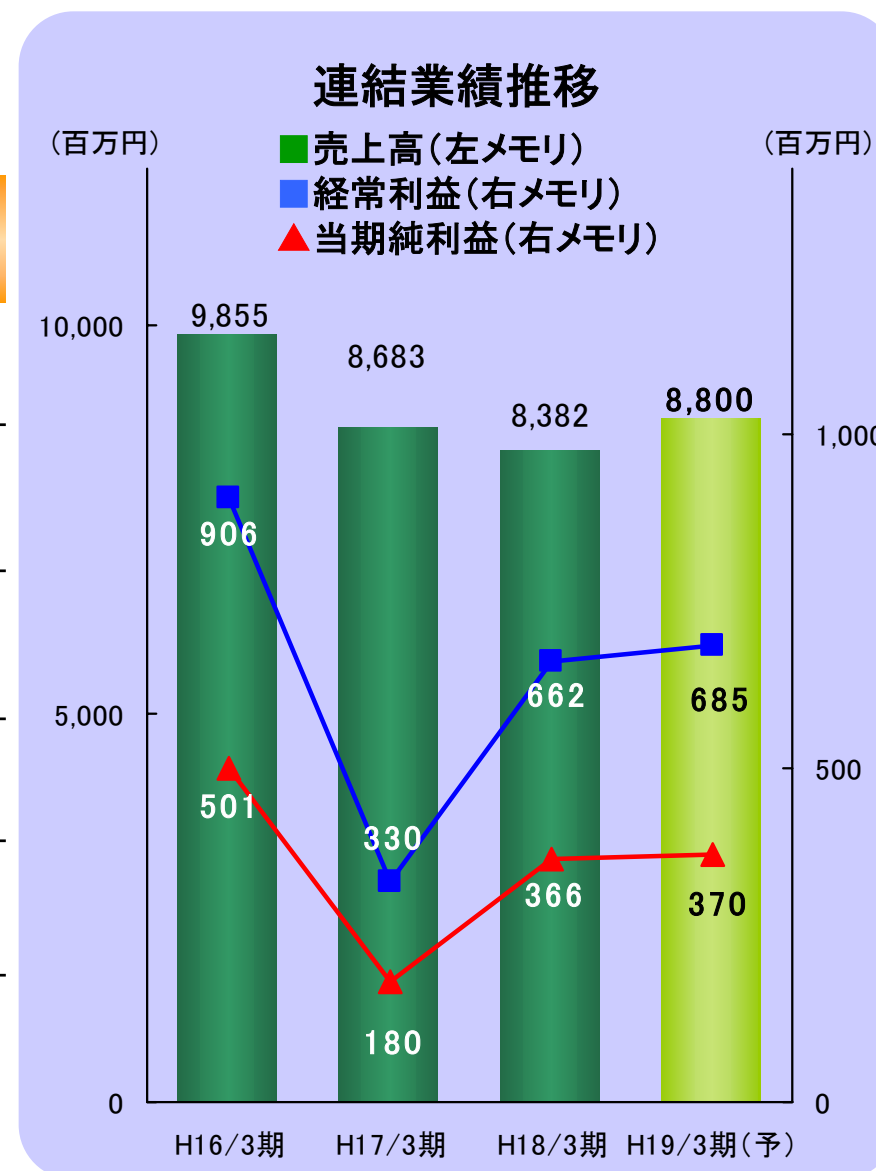
3. 通期業績予想

平成19年3月期業績予想(連結)

3. 通期業績予想

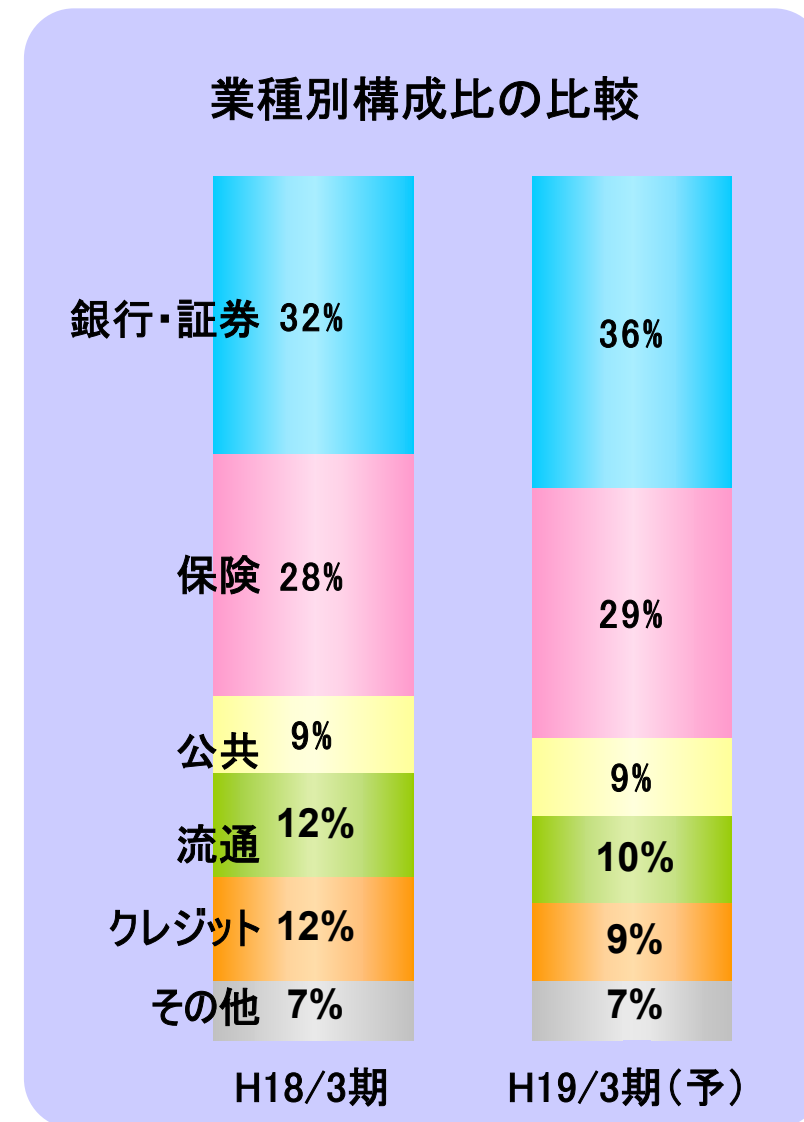
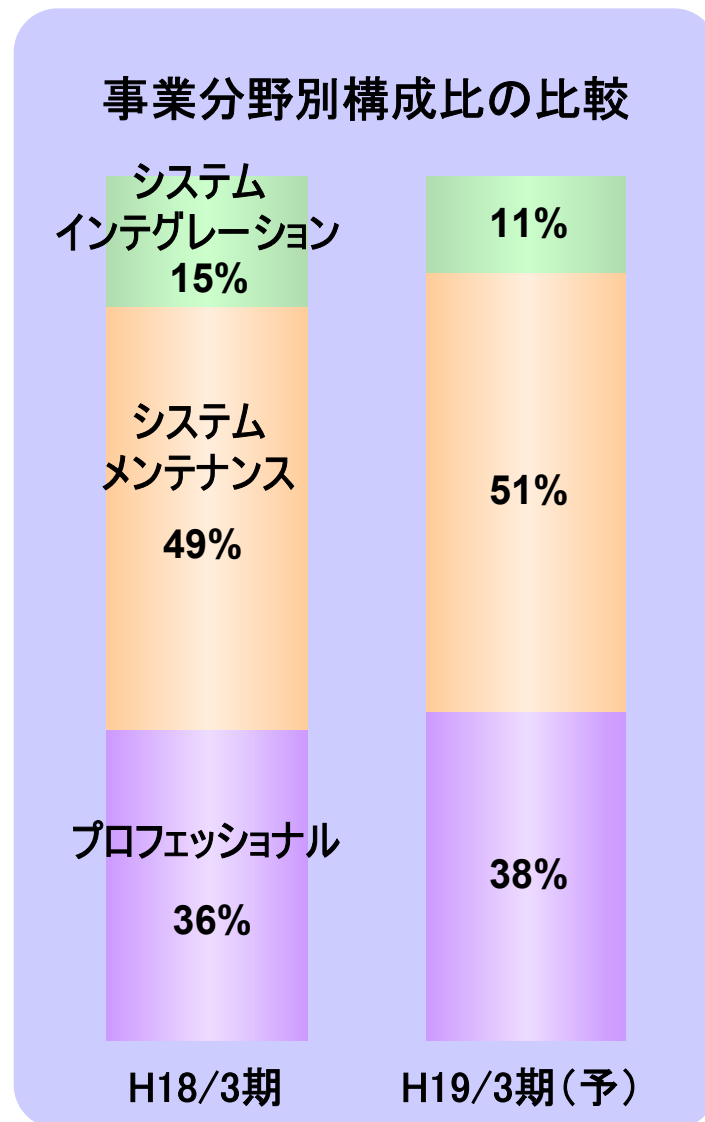
	H18/3月期 実績	H19/3月期 予想	(百万円) 増減率
売上高	8,382	8,800	+5.0%
経常利益 (利益率)	662 (7.9%)	685 (7.8%)	+3.4%
当期純利益 (利益率)	366 (4.4%)	370 (4.2%)	+0.9%
EPS	55.79	61.27	—
配当	通期20円 中間10円	通期30円 中間20円	—

※中間:創立30周年記念配当10円含む



事業分野・業種別売上高構成比

3. 通期業績予想



各業種の動向

3. 通期業績予想

銀行・証券 (構成比 36%)	Sier経由の都銀案件、証券代行業務を中心に増加見込む 新規顧客及び案件が拡大
保険 (構成比 29%)	生保の個人保険業務を軸に Sier経由の損保及びエンド・ユーザーとの取引拡大
公共 (構成比 9%)	航空系のエンド・ユーザーとの取引は横這い、 鉄道及び電力向けの案件参入で業務領域拡大図る
流通 (構成比 10%)	Sier経由の大手スーパー案件がベース エンド・ユーザーの大型案件がピークアウト
クレジット (構成比 9%)	長期大型案件の縮小、エンド・ユーザーの受注拡大 新規案件への参入

4. 優先課題への取組み

《上期実施事項》

☆受注の拡大

- ✓ 事業部門の再編
- ✓ 開発支援本部による営業支援強化

☆プロジェクト管理の強化

- ✓ 経営管理室の独立

☆人材の育成

- ✓ 上級SE育成プログラムの遂行
- ✓ 開発センターを新設
 - ・新卒者へのJava、.Net等の導入教育実施
 - ・実践的技術者の育成

①強みを活かした受注の拡大

- 事業基盤の明確化及び確立
⇒優位性のある業務・技術を
更にブラッシュ・アップし、
横展開及び新規顧客開拓
- 開発センターの有効活用

②人材の育成

- 実践的技術者の育成
- プロジェクト・リーダー層の育成に注力

③開発体制の確保

- パートナー推進室による連携の強化

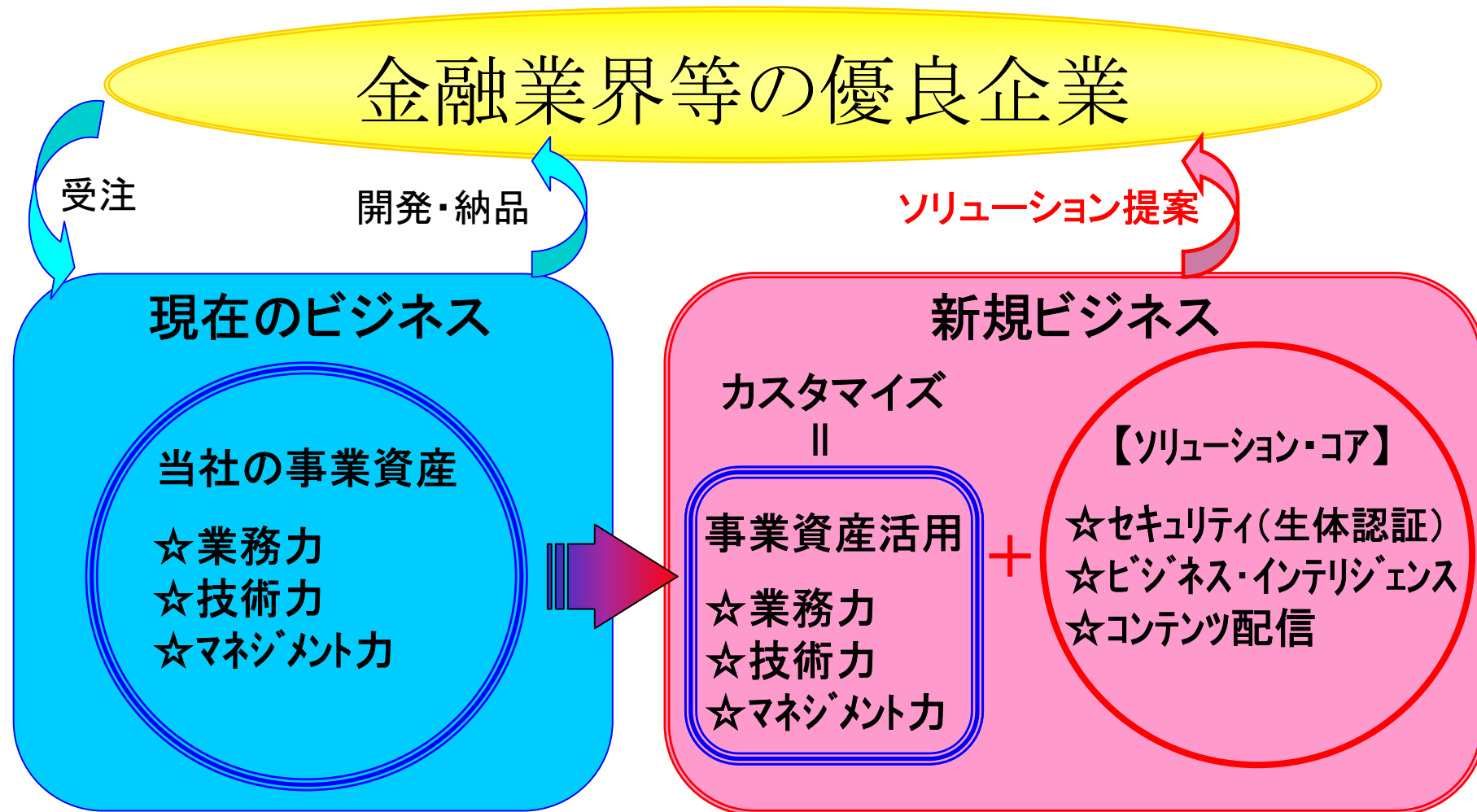
④プロジェクト管理の強化

- 受注前のリスク分析及び見積精査
- 受注後の品質・コスト・進捗管理の徹底

⑤新規事業の開拓

- 時代の変化に対応したビジネス展開
- 経営資産(業務・技術・顧客)を活かした新規事業
- ビジネス開発室の新設

⑤新規事業の開拓



本資料には、株式会社ハイマックスの将来の業績見通しが記載されております。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化し得ることをご承知おき下さい。

平成19年3月期 中間決算説明会

平成18年11月6日

株式会社 **ハイマックス**

IRに関するご質問・お問合せ先
経営企画室 TEL045-201-6655